

【鎌倉アルバス】

鎌倉アルプスは平日にも係わらずハイカーが多い。鳥の声は盛んにすれども姿は見つからない。野鳥の会の会員と いう方に教えてもらい、やつと見つけられる。

瑞泉寺の梅は、光琳の『紅白梅図屏風』のよう、老木で
苔むし? ている。が、一本の
黄梅の他はまだほんの数本し
か咲いていない。そのためか
この時期は訪れていた方は少
なく静かである。

上空をトンビが舞う小町通りは観光客などで混雑している。と、けたたましい鳥の声。何かをくわえたカラスが、横取りしようとするトンビから逃げ切り枝に止まつた。食べ物を包んでいたと思われる紙切れがヒラヒラと落ちてくるがもうトンビも見向きもせず、人間の声だけのいつもの界隈に戻つていた。

◆2月10日
◆S々木(雅)、G藤、T
K
他1名

トンビが2・3羽舞う大平山直下の広場ではハイカーが、ゆつたりまつたりと昼食を採つてゐる。

大空ではカラスがおこぼれを貰おうと鳶を追い回している。私たちのみが取り残されるとトンビも立ち去り雀も出てきて落ち着いた雰囲気になる。



花には蜜を求める数羽のメジロが忙しく飛び回つている。